

JPDA 7月定例理事会議事録

日 時：令和元年7月10日（水）午後1時30分～午後5時20分

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 C

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中20名（伊藤 透、井上 聡、青木（入江）あずさ、牛島志津子、
畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、加藤（桑）和美、小原 司、鈴木智晴、
高田知之、竹内清高、中越 出、永田麻美、藤田 隆、三原美奈子、森 孝幹、
八木勇達、山崎 茂）

監事2名中1名（時田秀久）

欠席者：5名：理事4名、監事1名（池田 毅、小川 亮、加藤 芳夫、中森恭平、信藤洋二）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡
時田秀久

議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者21名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、時田秀久監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、法人2社から入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

(1) 法人会員（2社）

<東日本>

1. 株式会社 モメンタムジャパン【推薦者：菅野 富美子（日本コカコーラ(株)）】

<西日本>

2. 井村屋株式会社【推薦者：佐藤 聖子（レンゴー(株)）】

第2号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届けを提出した個人会員1人の休会を承認した。

(1) 個人会員 (1人)

<東日本>

1. 内山 淳子 (うちやま じゅんこ) 【令和2年1月～令和3年12月】
(海外移住のため)

第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した個人会員4人の退会を承認した。

(1) 個人会員 (4人)

<東日本>

1. 島崎 英雄 (しまざき ひでお) 【令和元年6月末退会希望】
(一身上の都合により)
2. 渡辺 隆史 (わたなべ たかし) 【令和元年6月末退会希望】
(花王(株)を退職のため)
3. 花村 賢二 (はなむら けんじ) 【令和元年6月末退会希望】
(一身上の都合により)
4. 伊東 保 (いとう たもつ) 【令和元年6月末退会希望】
(デザイン制作から引退するため)

第4号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記4件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 協賛名義使用の依頼 (2件)

1. 「JAPAN PACK 2019」

【2019年10月29日 (火) ～11月1日 (金) 幕張メッセ】

主催：一般社団法人包装機械工業会

2. 「オリジナル商品開発WEEK『第2回パッケージ×デザイン展』」

【2020年2月18日 (火) ～21日 (金) 幕張メッセ】

主催：一般社団法人日本能率協会

(2) 後援名義使用の依頼 (2件)

1. 「コンテンツ東京2020」

【2020年4月1日 (水) ～3日 (金) 東京ビッグサイト】

主催：リード エグジビション ジャパン株式会社

2. 「おいしい東北パッケージデザイン展及びフォーラム2019」

【展示会：2019年12月6日（金）～11日（水） せんだいメディアテーク】

【フォーラム・表彰式：2019年12月11日（水） せんだいメディアテーク】

主催：東北経済産業局

※正式な依頼書は、後日、加藤専務理事への審査委員長就任の要請と合わせて郵送されます。

第5号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長より、現状の活動状況について以下の報告があった。

加藤専務理事は欠席のため渡邊事務局長が代読した。

- 伊藤理事長報告
- ・ 6/11 パッケージデザイン学校打合せ（加藤専務理事同席）
 - ・ 6/13 日本パッケージングコンテスト審査会に審査員として出席
東日本・国内交流合同委員会
 - ・ 6/18 APD in Nara 内容委員会（井上副理事長同席）
 - ・ 6/19 2020年展覧会打合せ（加藤専務理事同席）
 - ・ 6/24 協会案内パンフレット打合せ
 - ・ 6/26 APD in Nara 現地視察・打合せ（井上副理事長同席）
 - ・ 6/28 流行色協会総会パーティーに出席
 - ・ 7/2 2020年展覧会打合せ（加藤専務理事同席）
 - ・ 7/9 東日本・国内交流合同委員会
 - ・ 7/10 APD in Nara 内容委員会（井上副理事長同席）
 - ・ 7/27 アスパック国内一次審査（井上副理事長同行）
- 井上副理事長報告
- ・ 6/4 APD in Nara 西日本委員会
 - ・ 6/14 アスパック 京都造形大学ワークショップ（インストラクター）
 - ・ 6/18 APD in Nara 内容委員会（伊藤理事長同席）
 - ・ 6/20 APD2020・JPDA60周年シンボルマーク一次審査結果確認
 - ・ 6/21 西日本勉強会「あえる」Vol.1、総会報告会、交流会
 - ・ 6/26 APD in Nara 現地視察・打合せ（伊藤理事長同席）
 - ・ 7/2 西日本委員会ミーティング
 - ・ 7/10 APD in Nara 内容委員会（伊藤理事長同席）
 - ・ 7/27 アスパック国内一次審査（伊藤理事長同行）
- 加藤専務理事
- ・ 6/11 パッケージデザイン学校打合せ（伊藤理事長同席）
 - ・ 6/18 APD in Nara 内容委員会
 - ・ 6/19 2020年展覧会打合せ（伊藤理事長同席）
 - ・ 6/28 JAGDA総会交流会出席

第6号議案 事務局報告

- ・ 渡邊事務局長より資料に基づき以下の報告があった。
1. 内閣府関連
 - ・ 平成30年度の事業活動報告等の申請が6月28日に終了したこと。
 - ・ 10月2日（水）に内閣府の立入検査があること。（前回は2015年12月）
 - ・ 「消費税の円滑且つ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（消費税転嫁対策特措法）の遵守について」という案内があったこと。
 2. 広報誌への協賛広告継続出稿の依頼について
 - ・ 現在、過去に出稿したことがある会員に対し申込書を送っているが、奮っての協賛をお願いしたい。
 3. 『年鑑 日本のパッケージデザイン』献呈先の見直しについて
 - ・ 年鑑の小売価格がアップしたためこれまでの献呈先を見直した結果、24件から18件にしたいという報告をしたが、出席者からはとくに異論がでなかったので、今回はこれらの献呈先に発送の手配を行うこととする。（議案書P. 29・30）
 4. 事務局のブラインド交換について
 - ・ 大通りに面したブラインドが、劣化のため上げ下げができなくなったことから、事務局内のブラインドの交換を検討したが、すでに10年以上を経過しており、一部の交換は見苦しいので、全てのブラインドを交換した。（すでに理事長・副理事長・総務担当理事には了解はいただいているが、費用は115,452円である。）
 5. 広報関係
 - ・ 以下2件を報告した。
 - ① 6/3にテレビ大阪からの取材があった「大阪成蹊大学での巡回展」に関する報道（放映は同日6/3の夕刻）
 - ② 包装タイムズ（週間）6/10号に掲載された2020年の60周年記念事業として、パッケージデザイン学校を検討しているという記事
 6. スケジュール関係
 - ・ 以下2件を報告した。
 - ① 2019年度に計画している主なイベント関係のスケジュール（議案書P. 34）
 - ② 9月以降の理事会・総会のスケジュール
 7. その他報告事項
 - ・ 議案書にある以下7件を報告した。
 - ① インドネシア貿易振興センター大阪事務局からの問い合わせ（森理事を紹介）

- ② 和歌山県商工観光労働部企業振興課からのセミナー講師派遣依頼。
- ③ 東京イラストレーターズ・ソサエティのJPDA事務局訪問。
- ④ 広島市経済観光局のJPDA事務局訪問（新規事務所開設への優遇措置について）
- ⑤ 三原理事が堺市商工会議所で講演したこと
- ⑥ 全会員への「総会議事録と2019年度事業カレンダー」の送付が終了したこと。
- ⑦ 愛知芸大より美術学部講師または准教授公募の連絡があったこと。

第7号議案 委員会報告（●は資料あり）

<承認事項>（3件）

●総務（第38回通常総会後の記念講演会・交流会）

- ・南谷事務局員より、資料に基づき、以下2件の収支報告があり、いずれも承認された。

① 第38回通常総会 記念講演会

公益会計：収入 0円、協会補助 300,000円、支出 288,296円

収支差額 +11,704円

② 通常総会後の交流会

法人会計：収入 510,000円、協会補助 0円、支出 496,492円

収支差額 +13,508円

●西日本（6月勉強会「あえる」Vol.1、総会報告会、交流会）

- ・三原理事より、資料に基づき6月21日（金）にメビック扇町で開催された西日本勉強会「あえるVol.1」の活動報告があった。

（勉強会参加者：55名（会員46名、一般9名）、交流会出席者29名（会員28名、一般1名）

- ・今回の勉強会はモバイルアプリに焦点を絞り、昨年もお願ひしたAdobeシステムズ 岩本崇氏を講師に迎えて、イラストレーター・フォトショップの最新機能や3Dソフトディメンションの使い方等を紹介した。質疑応答の時間を長めに設定したので、より実践に近い、具体的な質問が多く出ていた。

今回は北海道や高知からの参加もあり、昨年に引き続き関心の高さを実感した勉強会であった。

- ・総会報告会では5/30の総会で流した、映像による活動報告を紹介した後、渡邊事務局長より決算報告、井上副理事長より2020年の60周年記念事業全般の紹介があった。
- ・収支報告は以下の通りで、いずれも承認された。

① 勉強会「あえるVol.1」

公益会計：収入 0円※、協会補助 125,000円、支出 45,319円

収支差額 +79,681円 ※講師諸謝金がなかったため参加費を無料とした。

② 交流会

法人会計：収入 112,000円、協会補助 0円 支出 112,000円

収支差額 ± 0円

●JPDA60周年・APDシンボルマークの選定について

- ・井上副理事長より、4/24～5/19の間に応募を募ったJPDA60周年（56点の応募）、およびAPD2020（38点の応募）のシンボルマークについて、6/18のAPD内容委員会の出席者（伊藤理事長を含む11名）による一次審査の結果報告があった。
- ・一次審査は、出席者が優秀と思う作品5点を選び投票。井上副理事長から「その上位（3票以上の投票があった作品）各4作品の中から理事会でそれぞれの採用案を決定したい。セット使用も考慮して4つのグループに分けている。」とのコメントがあった後、自由討議に入った。（井上副理事長からは4組にグループ分けした案を提示）

<以下、質疑応答のコメント（敬称略）>

（選定方法について：グループで選別するのか or それぞれに分けて選別するのか？）

- ・グループ間の入れ替えは可能か？また、この二つのロゴはセット（ペア）で使われることが多いのか？もしセット使用が少ないのならば、それぞれ別個に選んでもよいと思う。（小川裕子）

⇒グループ間の入れ替えは有りだと考える。

セットでの使用だが、60周年のロゴはいろいろなケースで使われることが考えられるが、APDはあくまでもアジアパッケージデザイン会議のみに限定されると思う。

（井上）

◎セットでの選出についてはいろいろな意見が出たが、別々に選んだ方がよいという意見の方が多かった。

最終的に60周年とAPDそれぞれを21名の出席者の投票で決めることになった。

【60周年】 a案(#60_37)：6票、b案(#60_48)：0、c案(#60_52)：5票、d案(#60_39)：10票

⇒ d案(#60_39)に決定

【APD】 a案(#AP_33)：1票、b案(#AP_20)：3票、c案(#AP_32)：12票、d案(#AP_24)：5票

⇒ c案(#AP_32)に決定

両案とも2作品の関連性を考慮したデザインのブラッシュアップを進めていき、

8月にWebサイトで最終デザインを発表する予定。

（商標調査について：投票前の発言含む）

- ・商標調査は済んでいるのか？（時田）
- ・一部の案は他社のマークに似ている面もあるので、調べておいた方がよいと思う。（藤田）
- ・60周年のロゴは出版物でも使おうと考えているので調査はお願いしたい。（山崎）
- ・J-PlatPat等で商標検査が必要となるが、応募者に類似のデザインを意識したかを聞く方法もある。（時田）

◎高田理事から、この件に関しては、デザイン保護委員会で調査方法を含めた検討を進めるとのコメントがあった。

<報告事項>

●60周年アジアパッケージデザイン会議

- ・井上副理事長より、資料に基づき、現在内容委員会で進めている「アジアパッケージデザイン会議」の進捗状況について以下の報告があった。(詳細は議案書P.42～45参照)
- ・6/18と7/10の2回、伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事をはじめ、西日本・東日本・国内交流・国際交流の4つの委員会で構成された内容委員会で検討するとともに、6/26には内容委員会のメンバーで会場の下見を行った。

(周囲の環境や検討中のいくつかの会場を映像で紹介した。)

- ・全体のベースになるテーマは『交(こう)』Crossingとし、デザイン会議のタイトル候補として「古都で国際的な未来を考える」を考えているが、最終的には講師・講演内容により決めていきたい。
- ・現在、講師候補として京都精華大学学長であるウスビ・サコ氏が内定しているが、アジアを含め東京方面ではあまり知られていないことから、集客力のあるもう一人の講師を検討中である。

また、合わせて「お茶のおもてなし」等の会議中の記念イベントも検討している。

- ・2019年11月8日(金)に現地の会場で、2020年の「アジアパッケージデザイン会議」の内容・進め方を確認する各国(5～6カ国)の代表者会議を開催する予定。

そこで、いままで毎回作成していた展覧会出品の作品集の代わりに、Webサイトでの作品掲載を各国に提案したいと考えている。このWeb上のシステム作りは外注も検討していくつもりである。

- ・本番は2020年11月12日(木)～13日(金)。開催準備については西日本・東日本・国内交流・国際交流のメンバーからなるいくつかのチーム(委員会)で検討を進めていく。13日は終日が「アジアパッケージデザイン会議」となるが、会議終了後は170～200名の参加を予定する「JPDA・APD交流会」につなげていくように考えている。
- ・伊藤理事長からは「西日本だけでは人員的に厳しいと思われるので、東日本からも、準備も含めた積極的な協力・応援をお願いしたい」とのコメントがあった。

●展覧会

- ・小川裕子理事より、資料に基づき2020年の第3回創作展の企画案について報告があった。

- ・メインタイトルは「みらいパッケージ展」とし、
コピーは「みらいは、誰かの願いでつくられる」にしていきたい。

今回は、2016年、2018年に次ぐ第3回の創作展になるので、過去・現在・未来のような

展開を考えたいと考えている。

前回、藤田理事から環境問題やゴミ問題をテーマに考えてはどうかというご意見をいただいたが、このテーマは展覧会委員会だけではなく、協会全体として取組んで行くべきテーマなので、今回は提案通りの内容で進めいきたい。

- ・また、出品者には**6つのカテゴリーを提示**し、未来のどこに焦点を当てたいかを考えていただきたいと思っている。
- ・9月の理事会までに承認いただければグラフィック関係を進めて、出品者への募集は1月上旬に発送。また、**開催は2020年の9～10月**を考えている。

<以下は理事会出席者からの意見（敬称略）>

- ・「なつかしいみらい」があってもよいと思う。（藤田）
- ・カテゴリーの「賢いみらい」は固いので「やさしいみらい」の方がよいのでは。（井上）
- ・6つのカテゴリーを全部ひらがなにしては。（梅原）
- ・別途検討を進めている2020年の企画展は縄文・弥生から現在に至る、日本のパッケージデザインの系譜をテーマとしているので、それとの比較の中で「みらい」をテーマにするのは面白い企画だと思う。（渡邊）

◎基本的なタイトル・コピーは了解されたと思われるので、次回の理事会に向けてカテゴリー案について検討いただくこととしたい。

●コンペティション（日本パッケージデザイン大賞2021：詳細は議案書P. 55・56）

- ・小原理事より、資料に基づき現在コンペティション委員会で検討している内容についての報告があった。
- ・委員会では、コンペティションに関する課題を「最優先課題」、「次期検討課題」、「中期的・継続的課題」の3つに分けているが、**最優先としては以下の3つの課題**がある。
- ・まず「**審査基準**」について。6月の臨時理事会でのブレストでもいろいろなご意見をいただいたが、その内容と他協会のコンペの審査基準を参考にしながら、「時代性」や「わかりやすい表現」等を取り入れる検討を進めたいと考えている。
- ・次に「**審査員の選定**」だが、第一次審査はデジタル（映像による）審査にすることを前提に、一次審査員・二次審査員の人選と適正な人数（現在の50人レベルから100人程度）を検討していく。
- ・この審査員の選定は「**審査方法**」にもつながるもので、一次のデジタル審査は審査員の自宅で審査していただくことを前提としているが、応募数が1,000点を超えられることから、カテゴリー毎に2グループに分けることや審査期間の延長を検討している。また合わせて、そのためのシステム制作や費用試算も平行して行っていくつもりである。

●アーカイブ（詳細は議案書p. 48～54）

- ・入江理事より、資料に基づき11月に予定している第1回アーカイブ展の進捗状況について

での報告があった。

- ・前回は説明したとおり、2019年11月6日（水）～16日（土）の間、「グッドデザイン丸の内」で、第1回（1985年）～第18回（2019年）までのJPDA大賞金賞以上の入賞作品（全61点）と年表を展示する展覧会としたい。会場のレイアウト案は議案書のとおり。

展覧会のテーマは『「平成」という時代とパッケージデザイン』で考えている。

また、期間中の11月15日（金）に東洋インキ29階大会議室で、3名の講師（デザイン評論家：柏木 博氏、サントリー：水口洋二氏、資生堂：信藤洋二氏）を招いた講演会とパネルディスカッションを計画している。

<以下は理事会出席者からの意見（敬称略）>

- ・通りに面したところは光が当たるので、作品に悪影響はないのか。（中越）
⇒委員会で同意見が出たので、そこには作品を展示しないようにしている。（入江）
- ・展覧会の名前は『「平成」という時代とパッケージデザイン』になるのか。サブタイトルとしては否定しないが、展覧会名として当たり前過ぎて、弱くないか。（梅原：伊藤、江藤も同意見）
⇒もう少し委員会で考えてみる。9月の理事会で報告したい。（入江）

●デザイン保護（7月セミナー他）

- ・高田理事より、資料に基づき、HPへの委員会レポートページ、デザイン保護セミナー、知財塾、D-8デザイン保護研究会他についての報告があった。
- ・セミナーは9月12日、東洋インキ大会議室で外部講師（すでに決定）を招いて開催予定。極力多くの方に参加していただきたいことから、参加費を1,000円とした。
- ・知財塾は、講師に永芳弁理士を招き、参加者は最大20名、会費（3回分）は10,000円。11月、1月、3月の3回開催する予定である。
- ・D-8関連では8月に特許庁と「意匠法改正に関する意見交換会」を実施する予定。
- ・JAGDAより、JAGDAが開催する知財権セミナーへの協力要請が来ている。（詳細は不明）

●中日本（北陸）

- ・畝野理事より、資料に基づき、10/4～6に富山市役所での『富山デザインフェア2019』期間中開催される以下の3つのイベントについての報告があった。

- ① 学生対象のパッケージデザインコンペ（テーマは「富山の〇〇をつつむ」）
- ② 学生を対象としたデザインスクール（富山ADCとの共催）
- ③ Talk café 2019 in Toyama（金沢と富山で隔年開催）

パネリストに5月の総会で講演していただいた(株)ライトパブリシティの鈴木奈々瀬氏。ゲストにJPDA大賞2019のアルコール部門の金賞を受賞した富山スガキの金森健司氏を予定している。

●国際交流

- ・森理事より、6/12にインドネシア貿易振興センター大阪のMr. ICHWAN JOESOEF所長と貿易促進担当官の川原雅子氏のお二人が、大阪のデザインフォース社を訪問されたという報告があった。
- ・伊藤理事長から、2020年のAPDに参加していただいてはどうかとの提案があった。

●アスパック（審査員）

- ・森理事より、ASPaC Awards 2019の国内審査員についての報告があった。（議案書P. 63）
7/27（土）の予選審査員として確認中だった牛島理事は業務のため辞退された。
また、決勝は10/19（土）となる予定。

●アスパック（ワークショップ）

- ・江藤理事より映像で、桑沢デザイン研究所で実施した3時間のワークショップの内容について紹介があった。
- ・桑沢でのWSは他校と異なり、最後に作品のプレゼンまでであるので、そのままアスパックのコンペに応募することも可能とのこと。
- ・中越理事より、報告をいただいた3件分のアスパック国内ワークショップについては、JPDAサイトのアカデミーボックスで確認することができるとのコメントがあった。

●インターネット

- ・中越理事より、資料に基づき、4月以降のサイトの更新状況を含めたインターネット委員会の活動報告があった。
- ・60周年記念事業として検討中の「パッケージデザイン学校」については、まだ決まっていないことが多々あるが、プロジェクトチームの広報担当者と事前告知、受講申込み等のJPDAサイトの活用についての意見交換を行った。告知に関しては包装技術協会が発刊している月刊誌「包装技術」等に広告を出すことも検討してはどうかと思っているので、費用等の情報集めを進めたい。
- ・2020年のサイトリニューアルについては検討を進めているが、「本体サイト」、「活動情報」、「情報ライブラリー」等を機能別にサイトを分けて（見た目ではなく仕組み上）管理しやすくする工夫を考えている。8～9月にはさらに骨子を固めて、見積もりを依頼していきたい。

●調査研究

- ・中越理事より、資料に基づき、以下の4点についての調査研究委員会の活動報告があった。（詳細は別紙の活動報告参照）
 - ① Webサイト内の【情報の森】について
 - ② 4月以降の委員会開催状況
 - ③ 第2回研究会の開催について

- ・ 3月開催の第1回研究会を踏まえて、シリーズタイトルを「パッケージデザインの価値はどうか」とし、9/19(木)、東洋インキ(京橋エドグラン)において、「買い物行動とパッケージデザイン」をテーマとした第2回研究会を開催する。

技術関連は日本包装戦士会・未来包装研究会と協働することとし、募集人員は30名を予定している。

④ 調査研究活動に関する取材・寄稿など

- ・ 日報ビジネス『パッケージデザイン総覧』の巻頭記事として3月開催の第1回研究会の概要を掲載予定。(9月末発行予定)
- ・ 日本包装技術協会の月刊誌『包装技術』10月号「ライフスタイルの変化、包装の変化(仮)」特集号に山崎理事と分担執筆することで進めている。(10/1発行予定)

●教育

- ・ 永田理事より口頭で、10月28日(月)開催予定の「サトウ×カトウのトークバトル」に対し、JAGDAより共催で進める了解をいただいたとの報告があった。

●出版

- ・ 山崎理事より口頭で、次回のパッケージデザインインデックスの方向性についての報告があった。
- ・ 企画の詳細は9月の理事会で報告するが、**2020年版のパッケージデザインインデックスを60周年記念の特別号として検討したい。**(『Our Best Works(仮)』)

見応えある本とするために、掲載は1ページに1作品、もしくは見開きで1作品とし、掲載料は40,000円とする予定だが、ページ数に合わせての割引を検討している。但し、スケッチとか試作品ではなく、あくまでも商品となったもののみを掲載するように考えたい。

また、記念出版物として外部の著名な方々に寄稿文をお願いするつもりである。

- ・ なお、外部への募集は9月から始めたいと考えている。

(この後、山崎理事より、紙面レイアウトと装丁案のダミーを回覧しての説明があった。)

- ・ レイアウトは極力シンプルに作品を立たせるものとしていきたい。また、制作者クレジットは①会社名(法人名)、②個人名、③個人名+サブで会社名、の3パターンから選べるようにしたい。基本的に個人を立たせるものにしていきたいが、会社によっては許さない場合もあるので、住所などの情報は巻末にまとめて掲載する予定である。

<以下は理事会出席者からの意見(敬称略)>

- ・ 以前出版した『パッケージデザインの勘ドコロ』に近いものになるのか?(伊藤)

⇒それが進化して作品集となったような形にしていきたい。(山崎)

- ・ いままでのインデックスの内容を考慮するのか、60周年の企画本として徹底するのかをはっきりさせる必要がある。(梅原)

- ・ どうせやるのならば、ベストワン本として企画を立てさせる方が面白いと思う。(小川裕)
- ・ 企画ありきで進めるのならば、出版委員会で掲載する作品を選んで制作者に交渉するべきだと思う。(伊藤)

⇒公益性も必要と考えており、自社のベスト作品を募って掲載料を取る、従来の自由参加型をベースに考えている。(山崎)

- ・ アーカイブとの棲み分けを考えた方がよい。(時田)
- ・ アーカイブはあくまでもパッケージデザイン大賞を受賞した作品を対象としているが、インデックスは大賞に応募しなかった作品も掲載できる作品集であるという位置付けになると思う。(中越)
- ・ 自薦作品を公募するとともに、クオリティの高い本になるように、60周年BEST WORKに相応しい作品を、出版委員会の推薦作品として掲載依頼することも考えている。(山崎)
- ・ 編集には相当苦勞するだろう。(梅原)

⇒今回は六耀社も乗り気なので期待している。(山崎)

- ・ この企画本は60周年記念事業の一環として考えるということによろしいか？(渡邊)

⇒出席者からとくに異論なし。

第8号議案 次回理事会開催の件

伊藤理事長より次回9月の定例理事会についての案内があった。

日時：令和元年9月11日(水) 午後1時30分～6時

場所：文京シビックセンター 5階 会議室 C

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

以 上